

# 私たちは、2030年の長期ビジョン(ありたい姿) 実現に向けて3つの成長領域に注力しています。

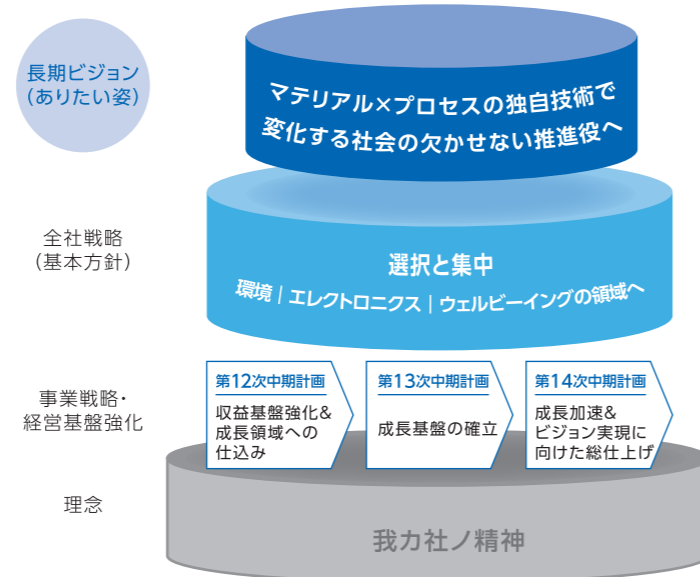
ノリタケグループでは、第12次中期経営計画の策定に際して、長期ビジョンを明確にし、その実現に向けて取り組むべき中期経営計画を策定しました。この長期ビジョンを実現し、よりよい社会へ貢献するために、事業を推進してまいります。

## 長期ビジョン(ありたい姿)

ノリタケグループは、「我々社ノ精神」に記した「事業を通じて社会に貢献する」という姿勢を経営理念の核としてきました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、地政学リスクの高まり、カーボンニュートラル社会の進展、デジタル化の加速、生活スタイルの多様化等、不確実で先が予測しにくい時代が続くものと認識しています。こうした経営環境のなか、第12次計画の策定にあたっては、2030年度における当社グループの長期ビジョン(ありたい姿)と、その実現に向けた戦略の方向性を描き、その上で、第12次計画の3年間の位置付けを明確にして、取り組むべき具体的な戦略を定めました。

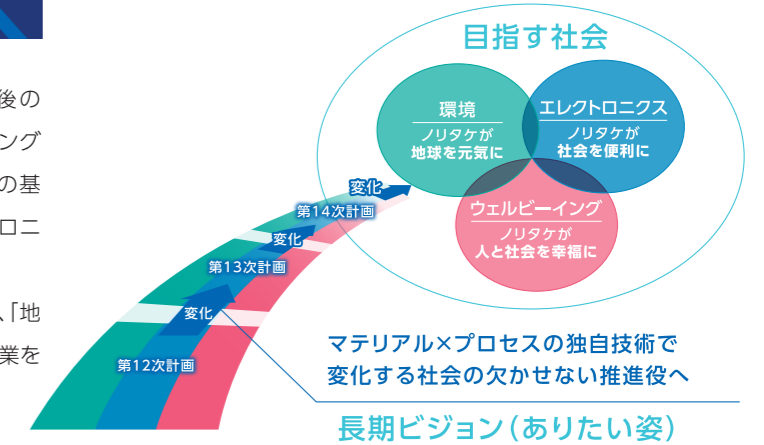
当社グループは、経営基盤を強化するとともに成長領域に注力し、「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役」として社会に貢献してまいります。



## 全社戦略(基本方針)

当社グループの長期ビジョンを実現するために、今後の成長が期待される環境・エレクトロニクス・ウェルビーイングの3分野を成長領域と定めて「選択と集中」を進め、現状の基盤領域(内燃機関、窯業等)から成長領域(環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング)へ事業領域の転換を図ります。

また、成長領域への取り組みを通じて、当社グループは、「地球を元気に」、「社会を便利に」、「人と社会を幸福に」する企業を目指しています。



## 第12次中期経営計画について(2023年度の取り組み)

2030年度に向けて第12次中期経営計画は、収益基盤の強化と成長領域への仕込みの期間と位置付けていま

### 経営基盤強化のための全社横断の取り組み

#### 新事業の創出

- 全従業員を対象とした開発テーマ提案制度と事業化のためのステージゲート制度の運用開始
- 新製品の開発
- 既存技術の用途開発・市場開拓
- オープンイノベーション推進体制の整備

#### 【今後の取り組み】

- 開発テーマ提案制度を含む事業化プロセスの定着と改善
- オープンイノベーション推進体制の構築
- 他社(スタートアップやパートナー企業など)との連携強化による開発の加速

#### 組織風土の改革

- 新人事制度の導入(2024年4月)
- より高度な挑戦を促す評価制度への改定
- 優秀な人材の早期登用
- 定年年齢を60歳から65歳へ引き上げ
- エンゲージメントサーベイの実施による課題の認識と解決に向けた施策の実行

#### 【今後の取り組み】

- 新人事制度の定着
- 働き方改革の推進

す。「収益基盤の強化」として、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化を進め、「成長領域への仕込み」として、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めています。特に、経営基盤の強化として、以下の4つのテーマで全社横断的に取り組みました。

#### サステナビリティ経営体制の整備

- サステナビリティ統括委員会の設置(2023年4月)
- GXリーグ\*への参画(2023年5月)
- ノリタケグループ人権方針の制定・開示(2023年10月)
- リスクマネジメント委員会の新設(2024年4月)
- 設備の省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用などカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの推進

#### 【今後の取り組み】

- マテリアリティの見直し
- 新たな中長期的目標の設定

\*GXリーグ:経済産業省が主導する、2050年のカーボンニュートラル実現に向けてGX(グリーン・トランスフォーメーション)に取り組む企業が、同様の取り組みを行う企業群や政府、大学、学術機関と協働して、経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場。

#### DXの推進

- デジタル技術を活用した業務プロセス改革を推進する基盤強化に向けた工程の可視化やデータを活用した工程改善の推進
- 「DX推進リーダー」育成プログラムの開始

#### 【今後の取り組み】

- DX推進委員会の立ち上げ(2024年10月予定)
- デジタル技術を活用した業務プロセス改革
- DX人材の育成を推進

## 事業戦略

現在の事業領域のうち、今後注力すべきものは以下の通りです。これらの市場への取り組みを通じて、当社グループの目指す社会の実現に向けて事業を推進しています。

今後の成長市場		環境	エレクトロニクス	ライフサイエンス	オールドテック
各事業領域の	工業機材	環境関連 (燃費向上・EV)	電子・半導体	医療	内燃機関
	セラミック・マテリアル	環境関連	電子材料	医療	窯業・鋳造関連
	エンジニアリング	環境関連 (電池・高効率化)	電子部品 (MLCC)	食品・医薬	インダストリアル
	食器				食器
成長領域	環境 ノリタケが地球を元気に	エレクトロニクス ノリタケが社会を便利に	ウェルビーイング ノリタケが人と社会を幸福に		

## 取り扱い製品の紹介

ノリタケグループは長期ビジョン「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を達成するために、2030年に向けた成長領域への投資と利益獲得の好循環を目指します。「環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング」の3分野を成長領域として定めて「選択と集中」を進め、現状の基盤領域(内燃機関、窯業など)から、事業領域の転換を進めています。現在、成長領域で活躍している製品や取り組みをご紹介します。



### リチウムイオン電池用焼成炉

自動車のEV化に伴い、リチウムイオン電池分野でノリタケの焼成炉が活躍しています。



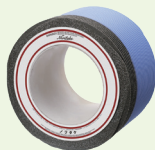
### 加熱殺菌装置

規格外品の青果をピューレに生まれ変わらせるための加熱殺菌装置を提供し、フードロス削減に貢献しています。



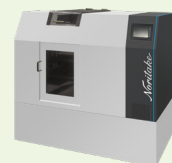
### 複層歯車研削砥石

電気自動車などで使用される歯車に求められる静粛性の向上やエネルギーの伝達ロスをおさくすることが可能な砥石です。



### スマートブリケッター

金属の加工で発生したスラッジ\*を圧縮して固形化(ブリケット化)し、研削液を回収する装置です。ブリケットは再資源化、研削液は濾過することで再利用が可能になります。

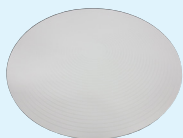


\*スラッジ:金属くずと研削液を含む泥状のもの



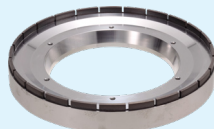
### LHAパッド®

パワー半導体ウエハーを研磨する砥粒内包型研磨工具「LHAパッド®」です。研磨剤スラリーを使用しないため、産業廃棄物削減にも寄与します。



### ウエハー平面研削ホイール

シリコンやSiCなどのウエハーの厚みを調整する平面研削に使用されるホイールです。



### 積層セラミックコンデンサ(MLCC)用材料

通信機器、自動車、産業機器などで半導体市場の拡大が見込まれていますが、それに伴いMLCCの需要が拡大します。



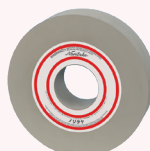
### クレマンス

料理を五感で楽しむために形状にこだわった器を、主にホテル・レストラン向けに開発しました。



### 注射針研削用砥石

注射針の針先を研磨する砥石です。バリの少ない仕上がりが評価されています。



### セラポール

多孔質セラミックスを応用した微細孔方式のファインバブル発生器です。医薬・化粧品への用途開拓を展開しています。

